

二小の風

学校通信



平成31年4月16日
4月号 天理市立二階堂小学校
文責 北野 博康
<http://academic1.plala.or.jp/nisyo/>

新しい年度が始まりました



約2週間余りの春休みも終わり、4月8日(月)の始業式で平成31年度がスタートしました。

お子様のご進級おめでとうございます。始業式の朝、校門で子ども達を迎えていると、子ども達もいつも以上に元気な声であいさつをしてくれ、学年が一つ上がり、張り切っているようでした。

今年度も、引き続き二階堂小学校の校長を務めることとなりました北野博康です。どうぞよろしくお願いいたします。

離任式で転任者を見送り、着任式で新しい先生を迎え、いよいよ始業式。静かな雰囲気の中、私の話もしっかりと聴いてくれました。

始業式では、『新しい』という気持ちを大切にしたいというお話をしました。新しい服やくつをおろすときのワクワクした気持ち。新しいノートに初めて書くときにいねいに書こうとする気持ち。また、これまで怠けていた自分やあきらめてしまっていた自分をリセットして、もう一度再スタートしたくなる気持ち。そんな気持ちにさせてくれる4月の始業式は、大切な日なのです。新しい目標を立てて取り組んでもらいたいです。

そして、いよいよ担任発表とクラス替え。ワクワクドキドキした気持ちで迎えたと思いますが、新しい担任の下、それぞれの学級で工夫した学級開きが行われました。

今年度は、新生児を入れて268名になり、新しい1年は、17学級でスタートしました。



入学おめでとう 51名の新入生



10日(水)の入学式では、51名の新入生を迎えることができました。入学式当日は、あいにくの雨模様だったのですが、満開の桜やチューリップに迎えられ、また、たくさんの地域の来賓の方もお越しいただき、盛大な式を執り行うことができました。

担任の先生方に名前を呼ばれ、大きな声で返事をしてくれました。また、「おめでとう」の言葉に「ありがとう」の言葉が返ってくることもうれしいことでした。

そうした大切なことを幼稚園や保育所(園)で教わってきた子ども達を小学校でさらに伸ばしていきたいと思えます。



教職員の離着任について

◇転任者

安永 稔 教頭先生・奈良市立月ヶ瀬小学校へ
水野 佳津子 先生・天理市立櫛本小学校へ
岡田 満加 先生・退職
久保田 悟 先生・滋賀県湖南市立三雲小学校へ
中村 真由実 主査・天理市立前栽幼稚園へ

◇着任者

杉田 美恵 教頭先生・天理市立前栽小学校より
山口 奈都美 先生・新採用
松本 有希 主査・天理市立朝和小学校より

離任者の在任中は、保護者・地域の皆様に変えお世話になり、ありがとうございました。着任者につきましてもよろしくお願いいたします。

「きく」と「きく」を大切に！ 学び合う学校を目指して

本校では、2つの「きく」を大切にしています。1つ目の「きく」はわからないことをだれかに訊ねる方の「訊く」です。

もう1つの「きく」は、話を注意深く聴く方の「聴く」です。

この2つの「きく」を大切にすることで子ども達が学び合う学校づくりを目指しています。

特にこの4月は、誰もが安心して話をしたり、訊いたりできるよう、「聴く」関係を作っていこうと取り組んでいます。そのために、誰かが話す際には、注目したり、「静か」をつくったりするように心がけています。

今年度に入ってから、全校朝会や下校会では、「静か」をつくることできるようになってきて、私もとても気持ちよくお話ができます。一人一人がかわれば二階堂小学校ももっといい学校になっていくはずですよ。

この「聴く」は、私たち大人にとっても心がけなければなりません。保護者の皆さんや教職員、つまり、身近にいる大人が子ども達の声にしっかりと耳を傾ける(傾聴)が大切です。途中で口を挟まずに最後まで話を聴いてあげることで、子ども達にとって家庭や教室が安心できる場所になるのだと思います。

この学校通信『二小の風』を通して今年度も学校としての考えや子どもたちの様子などを伝えていきたいと考えています。

